

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月1日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'ストック住宅改善事業' and '景観の良い住環境の保全'.

(1) 事務事業の概要
①事務事業の概要(事務事業の全体像)
②担当が行う業務の内容・やり方・手順
公営住宅整備事業は、茨城県及び県内25市町村で形成した協議会(茨城県地域住宅協議会)において5年ごとに地域(民間住宅を含む)の住宅政策の経緯及び現状を踏まえ課題をあげ施策を進めるものである。

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '市営住宅の建替え・整備計画' and '安心して安全な居住できる部屋を増やす'.

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, 02年度(実績), 03年度(実績), 04年度(計画), 05年度(目標), 06年度(目標), 期間限定総投入量. Includes '事業費内訳' table.

Table with columns for 03年度事業費実績(千円), 04年度事業費予算(千円). Includes '事業費の内訳' table with items like '12 委託料' and '14 工事請負費'.

事務事業名	市営住宅建替事業（ストック住宅改善事業）	事務事業No.	50201000776	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
住宅に困窮する世帯に低廉な家賃で住宅を供給することを目的とし戦後の住宅不足に対し開始されました。平成21年度より老朽化した公営住宅ストックについて予防保全的な維持管理を推進することにより公営住宅等ストックの長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を実現するために開始した。これまで市単独では予算を考慮し着手できなかった大型修繕事業を交付金を利用することにより計画的に行うことができ公営住宅の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減ができるようになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
住民：入居者は、計画的に整備することによりライフコストの縮減にもなることから支持を受けている。 議会：大切な公共財産の長寿命化につながり、また交付金を利用していることなどから支持を受けている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 快適で潤いのある居住環境づくりや、住居環境の一環に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市営住宅を安全に使用できるよう管理することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・生活困窮者への新規供給 ・ストック住宅の長寿命化 ・ライフコストの削減
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・入居待機者への新規供給がでない。 ・ストック住宅の長寿命化が実現できない。 ・ライフコストの削減ができない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 ストックの過剰気味である民間賃貸住宅を借上げ、さまざまな理由の住宅困窮者に住宅を提供する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない ストックの過剰気味である民間賃貸住宅を借上げ、供給することにより市で所有している老朽化住宅を解体撤去でき、借地の返還に結び付けられる。 国庫事業であるため、職員でなければならない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 入居者だけに受益のある事業であるが、公営住宅を整備することにより、周辺地区の環境整備にもつながる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成19年以降、新規住宅の供給はないが、近年では平成25、26、27、28年度（外壁改修事業：3住宅120戸）と大規模な修繕を行った。 平成30年度・31年度・令和3年度で犬田住宅（屋根及び外壁改修事業：1、2、3号棟）の改修を行った。 令和4年度に東十枚住宅1号棟改修予定。																									
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 防水塗装を行うので早期に発注し工期を十分に取るように留意する。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th></th> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下	×	×	×
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○	×																							
	低下	×	×	×																							
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>